

Treatment with insulin-like growth factor 1 receptor inhibitor reverses hypoxia-induced epithelial-mesenchymal transition in non-small cell lung cancer

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2015-03-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Nurwidya, Fariz メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2001688

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 1591 号

Treatment with insulin-like growth factor 1 receptor inhibitor reverses hypoxia-induced epithelial-mesenchymal transition in non-small cell lung cancer

(インスリン様成長因子 1 受容体阻害剤は非小細胞肺癌における低酸素誘導性上皮間葉転換を抑制する)

Fariz Nurwidya (ふありつつ ぬる づいでいあ)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、非小細胞肺癌において低酸素環境が IGF1R を活性化させることで、癌の進展・転移の機序として非常に重要である EMT を促進させることを示している。さらに IGF1R 阻害剤を用いることにより、この低酸素誘導性 EMT が抑制される可能性があることも示唆している。

現在、肺癌は日本のみならず世界でも癌による死亡原因の第 1 位を占めており、癌の生物学的特性に基づいた治療法の確立が急務である。肺癌をはじめとした多くの固形癌において低酸素領域が存在し、そこで誘導される EMT は進行癌における転移促進の重要な機序と考えられる。本論文は、非小細胞肺癌における低酸素環境において、IGF1R を介して誘導された EMT が IGF1R 阻害剤によって克服できる可能性を初めて明らかにした、臨床的に大変意義のある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。